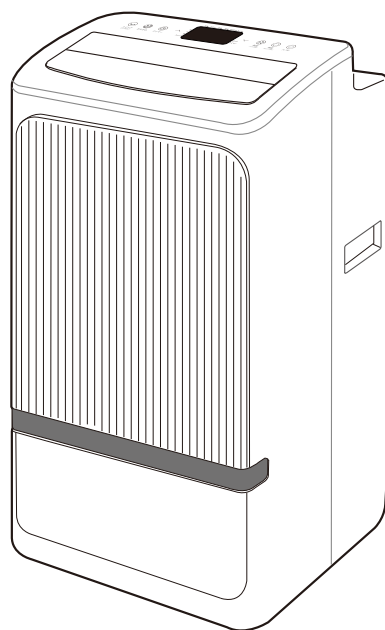


ポータブルルームエアコン BIT-PA38A 取扱説明書

保証書付

もくじ

安全上のご注意	P1~3
知っておいていただきたいこと	P4~5
コンプレッサーの保護機能に関して	P6
各部のなまえ	P7
操作 / 表示部について(ボタン説明)	P8
リモコンについて	P9
ご使用前に	P10~12
ドレン水を排水する	P13
アース線について	P14
すき間スポンジシールの取り付け方	P14
窓固定金具の取り付け方	P14
運転をする	P15~18
お手入れのしかた	P19~20
故障かな?と思ったら	P21~22
エラー表記について	P23
製品仕様	P24
保管のしかた	P24
長期使用製品安全表示制度 に基づく本体表示について	P25
部品・消耗品	P26
保証書	裏表紙




この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に
従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に
保管してください。


- 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- イラストと実物の形状が異なる場合があります。

安全上のご注意


必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

表示の例










 記号は「禁止」(しないでください)を示します。

 記号は「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告

 分解禁止	絶対に改造・分解・修理をおこなわない ●火災や感電・けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。	 ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触ったりしない ●感電やけがのおそれがあります。
 禁止	<div style="background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 5px;">日本国内専用</div> <div style="background-color: black; color: white; text-align: center; padding: 5px;">家庭用・屋内 / 準屋内用</div> <p>業務用や使用目的以外に使用しない 室内のみで使用し、屋外では使用しない</p> <p>コンセントや配線器具の定格を超える 使いかたをしない 交流 100V 以外では使わない 延長コードは使わない</p> <p>●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、 発火の原因になるとともに、接続している機器 が損傷するおそれがあります。</p> <p>電源コードを束ねたまま使用したり、引っば ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いもの のをせたり、傷つけたり、高温部に近づけたり 加工したり、はさみ込んだり、ステーブル などで固定しない</p> <p>●感電や故障・発熱・発火で火災の原因になります。 必ず伸ばした状態で使用してください。</p> <p>本製品の電源プラグが傷んだ場合や、 ゆるんだコンセントは使わない</p> <p>●感電や発熱・発火のおそれがあります。</p> <p>運転中に、電源プラグを抜かない 電源コードを抜いて停止しない</p> <p>●故障の原因になります。必ず電源を切りファン が停止してから電源プラグを抜いてください。</p>	 水ぬれ禁止 浴室・温室などの高温多湿の場所や、 水のかかる場所では使用しない ●絶縁部が劣化し、火災や感電の原因になります。
		 水ぬれ禁止 絶対に本体に水をかけたり、水に浸け たり、丸洗いや水の入った花瓶 などをのせたりしない ●内部に浸水して火災や感電、漏電の原因に なります。
		 禁止 発電機やポータブルバッテリーなどの 電源は使用しない※必ず商用電源を使用する ●商用電源に対応しているため故障の原因に なります。
		 禁止 からだの不自由な方やお子様だけで使用 させたり、幼児の手の届く所で使用や 設置・保管したりしない また、おもちゃとして絶対に使わせない ●感電やけがの原因になります。
		 禁止 吹出口や吸気口・給気口・排気口に、 ピンや針金などの金属製の異物や指 などを入れない ●内部でファンが高速回転しているため、けがの おそれがあります。
		 禁止 本体を横倒しにして設置や移動・保管 をしない ●けがや事故のおそれ、コンプレッサーなど の内部不具合の原因になります。

警告

 禁止	次の場所では使用しない ・火気の近く ・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所 ・雨や水しぶきのかかる場所 ・油・ホコリ・金属粉の多い場所 ・粉塵が浮遊する場所 ● 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。	 禁止	煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転をしない ● 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて健康を害するおそれがあります。
	直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない ● 故障や色あせ、熱による変形の原因になります。		窓パネルを取り付ける場合は、必ず付属の部品を使い、重量に耐える場所に正しく取り付ける ● 不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
	風をストーブなどの燃焼器具に向けない ● 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。		窓パネルの移動や再設置をする場合は、確実に正しく取り付ける ● 不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
	燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない ● 故障や変形のおそれがあります。また、冷風運転が正常に作動しない場合があります。		AC100V 15A以上のコンセントを単独で使用する 【コンセントの差込口が2口以上になっていても単独で使用する】 ● 過熱による発火や火災、感電の原因になります。
	本製品の上に乗ったり、物をのせたりしない ● 破損したり、転倒・落下によるけがの原因になります。		異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く ● 発煙・発火・火災・感電のおそれがあります。 [異常例] <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・異常な音やにおいがする ・電源プラグやアース線・電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感じる </div>
	本体にタオルや衣類・洗濯物などを掛けて乾燥用に使用したり、近くに置かない ● 可動部に絡まるなど、故障の原因になります。	 必ず守る	※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。
	本製品によりかかったり、倒したり、ぶつかけたりして強い衝撃を与えない ● 故障や破損の原因になります。		電源プラグは根元まで確実に差し込む ● 感電や発熱・発火による火災の原因になります。
	障害物（カーテンなど）の周囲や不安定な場所で使用しない ● 事故や転倒、故障や水漏れの原因になります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く ● コードが破損して感電や発熱・発火による火災の原因になります。
	長時間冷風や温風をからだに当てない また、冷風温度を下げすぎたり、温風温度を上げすぎたりしない ● 体調悪化や健康障害の原因になります。 とくに乳幼児やお年寄り、からだの不自由な方にはご注意ください。		使用後・使用時以外は、コンセントから電源プラグを抜く ● 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
	可燃性ガス（掃除用・殺虫用・整髪用など）や市販のエアコン洗浄スプレーを本体に吹きつけない ● 故障や変色、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。		電源プラグのゴミやホコリは定期的に乾いた布で取り除く ● 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
可燃性ガスが発生する場所や、溜まる場所では使用しない ● 火災や故障の原因になります。			

⚠ 警告



アース線接続

アース線を接続する

- 接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しない
詳細は 14 ページを参照

⚠ 注意

 禁止	<p>過熱を防ぐため本体を覆わない 本体にタオルや衣類などを掛けて使用したり、乾燥用に使用したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 	
 禁止	<p>温風使用中・使用直後は、吹出口やその周辺など熱くなっている部分に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やけどをするおそれがあります。 	<p>吹出口や排気口の風をさえぎったり、吸気口や給気口を塞いだりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発熱・発火・故障の原因になります。
 禁止	<p>ドレンホース差込口カバーおよび排水ドレン栓は、冷風運転・ドライ運転・温風運転の連続排水時以外は取り外さない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水漏れの原因になります。 	 禁止
	<p>付属の排気ダクト以外を使って排気ダクトを延長しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●能力低下や、安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。 	<p>特殊用途で使用しない 食品の保存や動物飼育室・温室・精密機器・コンピュータールーム・医療品などの維持・管理・保存など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品質低下や劣化・故障の原因になります。
	<p>押し入れや家具のすき間など、狭い場所で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発熱や発火・故障の原因になります。 	<p>犬や猫などのペット用空調機器として使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になります。 ●予期せぬ問題が発生し、ペットに害をおよぼす場合があります。
	<p>本体内部の熱交換器に手を触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けがの原因になります。 	<p>閉め切った部屋、ダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●換気が不十分な場合、酸素不足の原因になることがあります。
	<p>ルーバーを無理やり動かしたり、無理な力を加えたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破損の原因になります。 	<p>異常な振動や異音がした場合は、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●部品の落下などによるけがの原因になります。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 動かなくなったときは、それ以上動かさないでください。 </div>	 必ず守る
	<p>燃えやすい物の近くで使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カーテンや壁・家具の近く、熱に弱い敷物（ビニールクロスなど）の上で使用しないでください。 	<p>本体を移動するときは、運転を停止し、必ずコンセントから電源プラグを抜いて内部の水を捨ててからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●床を汚す原因になります。 また、ドレンタンクの中の水が本体内部に浸入し、感電の原因になります。
<p>毛足の長い絨毯や傷つきやすい床の上では、引きずって移動しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●絨毯の毛足を巻き込んだり、床を傷めるおそれがあります。 	<p>お手入れや点検の際は、必ずコンセントから電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがの原因になります。 	



包装用ポリ袋は、お子様の手の届かない場所に保管してください。誤って顔にかぶさったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。

知っておいていただきたいこと

- 本製品はセパレートエアコンではありません。簡易的な冷暖房としてご使用ください。
- 冷風は室温が約 16℃～40℃、温風は 5～32℃の範囲の環境でご使用ください。(6 ページ参照)
- 表示温度について
 - ・温度 / 時間表示画面に表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周辺温度になります。
 - ・設置場所によっては、温度が正確に表示されない場合があります。
- 冷風・温風運転時の設定温度について
 - 冷風運転：周辺温度より低い温度に設定してください。高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。ただし、ファンは連続運転し、送風運転を続けます。(ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります)
 - 温風運転：周辺温度より高い温度に設定してください。低い温度に設定した場合は、送風を停止します。
- 付属の窓パネル・排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、冷風運転時は室温が上がり、温風運転時は下がることがあります。
コンプレッサーの保護機能が働き、冷風・ドライ・温風運転ができないことがあります。
- 付属の窓パネル・排気ダクトを使用して、排気処理を適正におこないますと、経済的・効果的にご使用いただけます。
- ドレン水を受ける内部のタンクは上部と下部の 2 箇所あります。夏場は上部タンクにドレン水が溜まることのあるため、冷風・ドライ運転時は付属のドレンホースをドレンホース差込口に差しして使用することをおすすめします。冬場は環境によってドレン水が下部タンクに溜まることのあるため、付属のドレンホースを排水ドレン栓に付けて使用することをおすすめします。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。再度使用するときは、5 分以上時間をおいてから使用してください。

次のような使用は
避けてください。

- ・部屋の湿度が 80%を超えた状態が続く場所
- ・窓パネルを使用している状態で、風雨の強いとき
- ・加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所
- ・火花が飛び散るような場所
- ・むやみにボタン操作を繰り返す行為 → 故障の原因になります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません

- 音がする（「シャンシャン」など）
 - 運転開始直後や停止直後に、ユニットの中を冷媒液が流れる音がすることがあります。
 - 運転開始時・停止時に、本体の熱膨張や熱収縮による音がすることがあります。
 - 運転中に、本体内部でドレン水を蒸発処理している音がすることがあります。
 - 本製品は、コンプレッサーが稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- においがする
 - 購入後しばらくは、においがすることがありますが、使用を続けることで少なくなります。
 - また、ユニットに付いた部屋の芳香剤や化粧品、汗などのにおいがする場合があります。
- 霧について
 - 冷風運転中にドレンホース付近から、霧(煙)のようなものが見えることがあります。
 - これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- 結露について
 - 部屋の湿度が80%以上あるときに長時間にわたって冷風運転を続けると、ドレンホースの付近に結露が付き落ちることがあります。
- アルミフィンについて
 - 熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の溶接の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

知っておいていただきたいこと

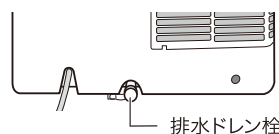
設置について

お願い

製品到着後はすぐに電源を入れず、必ず半日から1日以上置いてから使用してください。

→ 運送中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して故障の原因になります。

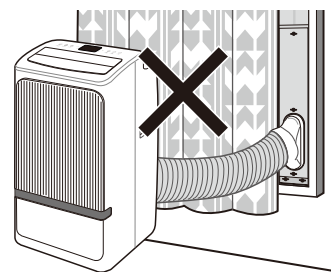
本体背面の排水ドレン栓が確実に差し込まれていることを確認してください。→ 確実に差し込まれていないと、水漏れの原因になります。



- 本製品の本体重量は約25kgです。平らで安定した、重量に十分耐える場所に設置する
また、2人以上で設置・移動をおこなう

※ 畳の上や、やわらかいフローリングの上など傷がついたり、設置跡が残る可能性のある場所には設置しないでください。

※ 設置場所には十分注意してください。設置跡に関しては弊社では責任は負いかねます。

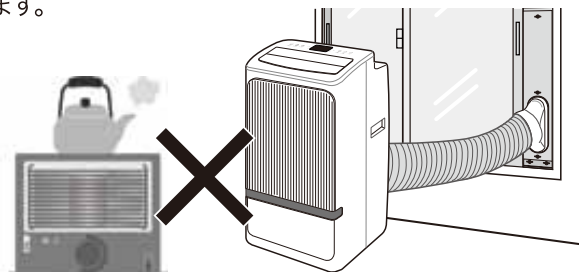


- 使用の際は、吹出口・吸気口・給気口・排気口を
ふさがないように、壁面から60cm以上離し、
周囲に障害物がないようにして設置する

→ カーテンなどが吸気口に吸い付き、故障の原因になります。

- テレビやラジオなどの AV 機器から
2m 以上離す

→ 電波障害の原因になります。

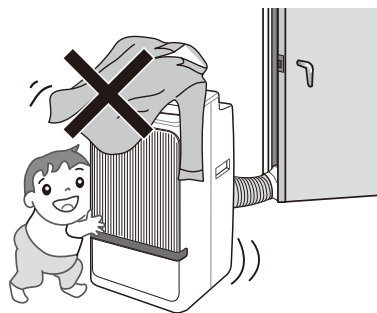


- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる
場所には設置しない

→ 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。

→ 故障や変形のおそれがあります。

→ 冷風運転が正常に作動しない場合があります。

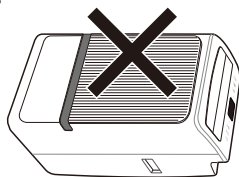


- 本体の上に物を置いたり、洗濯物を掛けたり、
乗ったり、寄りかかったり、倒したり、
強い衝撃を与えない

→ けがや事故・破損・故障の原因になります。

- 本体を横倒しにしたり、横倒しに
して設置や移動・保管したりしない

→ けがや事故・故障の原因になります。

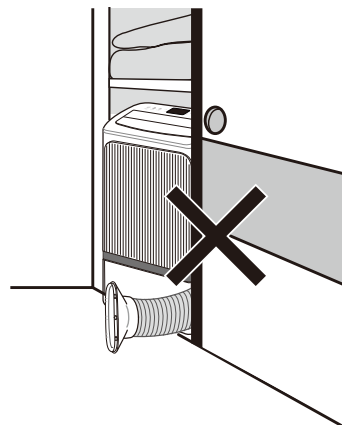


- 押し入れや家具のすき間など、
狭い場所に設置して使用しない

→ 発熱や発火・故障の原因になります。

- 直射日光が当たる場所に設置しない

→ 故障や色あせ、熱による変形の原因になります。



- 冷風・ドライ使用时、及び使用後に本体を移動させない

→ 移動させることで本体内部の水受け皿に溜まっている水が溢れ、時間差で外部に漏れ出ることがあります。

コンプレッサの保護機能に関して

冷風・ドライ運転

■室温が約 16℃～ 40℃の環境でご使用ください。

⇒ 以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風・ドライ ⇒ 送風」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が約41℃以上、15℃以下のとき

● 冷却ユニットに霜が付いた場合

※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。

※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。

※ ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

冷風運転	約15℃以下	約16℃～ 40℃	約41℃以上
ドライ運転	送風	冷風・ドライ	送風

※ 表示される周辺温度が40℃以下でも、本体内部の温度センサーが41℃以上と感知して送風に切り替わる、またはコンプレッサの入/切を繰り返す場合があります。

(周辺温度と本体内部の温度には差があります) 密閉空間では、コンプレッサの入/切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

※ 表示される周辺温度は目安です。設置環境や使用条件により、実際の室温と異なる場合があります。

温風運転

■室温が約 5℃～ 32℃の環境でご使用ください。

⇒ 以下の環境になると、保護機能が働き、「温風 ⇒ 送風停止」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が約33℃以上、4℃以下のとき

※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。

※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。

温風運転	約4℃以下	約 5℃ ～ 32℃	約33℃以上
	送風停止	温風	送風停止

※ 周辺温度が27℃以上の場合、周辺温度が32℃以下でも、本体内部の温度センサーが33℃以上と感知して送風が停止する場合があります。(周辺温度と本体内部の温度には差があります) 本体内部が32℃以下を感知すると温風が出ます。

● 約16℃以下の環境で温風運転をおこなう場合、使用開始から約20分後に5分程度冷風が出ることがあります。

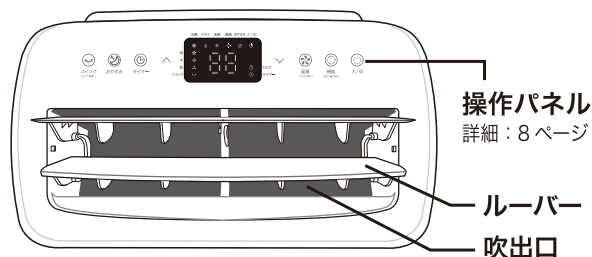
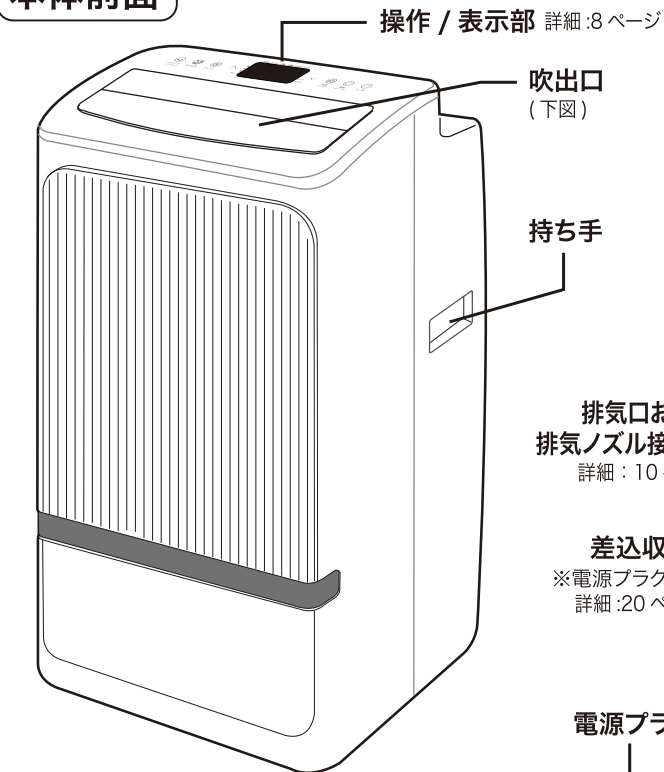
● 温風が出るまでには、最長5分程度時間がかかります。動作しない場合は設定温度を上げてください。

● 機能を切り替えた際、最長5分程度コンプレッサの起動に時間がかかります。

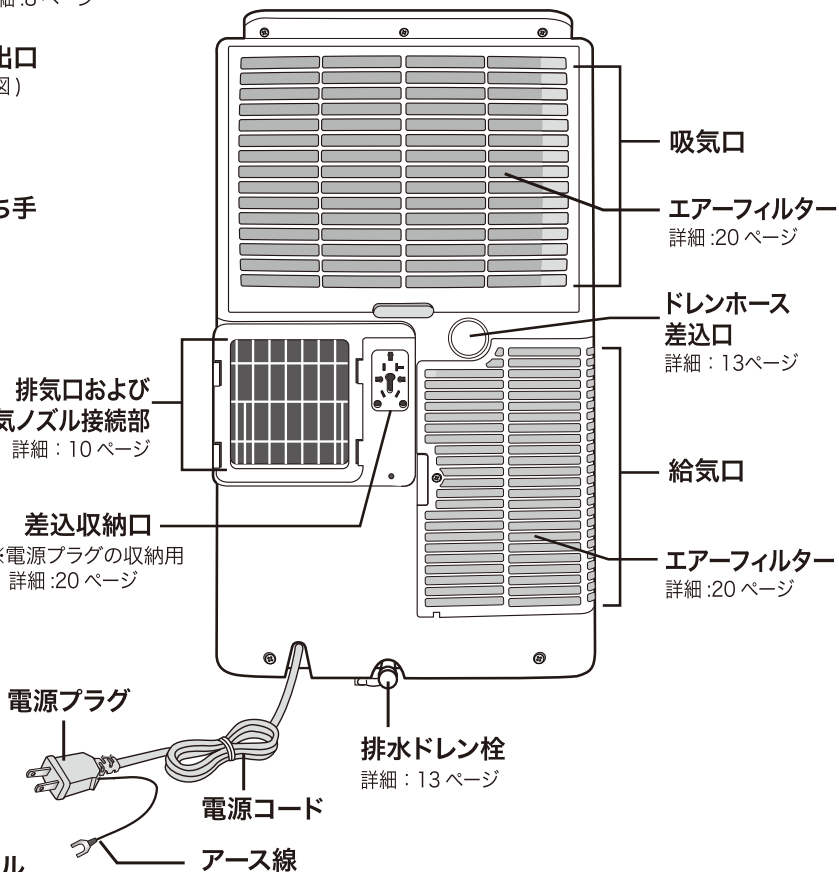
● 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサの起動に時間がかかります。

各部のなまえ

本体前面



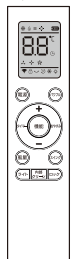
本体背面



必ず正しくアース接続をおこなう
 ●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。詳細：14ページ
電源コードは束ねたまま使用しない
 ●コードが熱くなり、故障の原因になります。

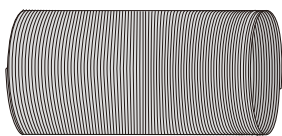
付属品

■リモコン 詳細：9ページ

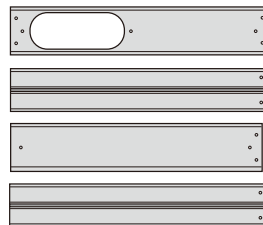


単4形アルカリ乾電池
2本使用
※電池は付属していません。

■排気ダクト 詳細：10ページ サイズ：約(直径)15×(長さ)170cm

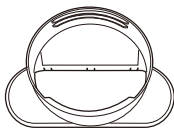


■窓パネル 詳細：11・12ページ

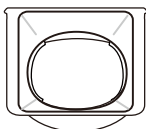


A 約(幅)11×(長さ)65cm
 B 約(幅)10.5×(長さ)65cm
 C 約(幅)11×(長さ)55cm
 D 約(幅)10.5×(長さ)55cm

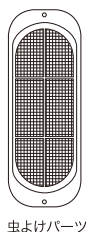
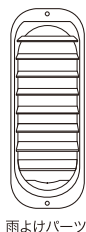
■ダクトエンド (窓パネル側)



■排気ノズル (本体側)



■雨・虫よけパーツ 詳細：11ページ



雨よけパーツ

虫よけパーツ

■窓パネル固定用 ネジセット x9



T型ネジ ワッシャー 蝶型ナット

■レール固定用 アタッチメント x2



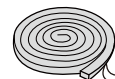
■窓固定金具 x1 詳細：14ページ



■ドレンホース 詳細：13ページ



■すき間スポンジシール サイズ：約(長さ)130cm×4 詳細：14ページ



操作/表示部について(ボタン説明)

表示部

(詳細:15~18ページ)

- ※送風・ドライ・内部クリーン運転時は周辺温度、冷風・温風運転時は設定温度が表示されます。(周辺温度は目安です)
- ※待機状態では周辺温度が表示されます。

●各動作状態のランプが点灯します。



[温度 / 時間表示画面]

操作部

(詳細:15~18ページ)

●操作ボタンは静電式タッチボタンです。
操作ボタンをタッチするとランプが点灯します。



静電式タッチボタンについて

ボタンの中央を軽くタッチすると操作できます。
次の場合はボタンが反応しないことがあります。

- 早くタッチしたとき
- 同時に2つ以上のボタンをタッチしたとき
- 指やボタンがぬれたり汚れたりしているとき
- 指以外の物でタッチしたとき
- 操作部やその周辺に手や物を置いているとき
- 指サックや傷テープなどをしているとき

周囲の温度や湿度、近くの電気製品の動作状況によっても影響を受けることがあります。

① 電源 入/切

- 電源切時はメモリー機能が働きます。
再度電源を入れると、電源切前の状態で運転を始めます。
- ※コンセントから電源プラグを抜き、しばらく放置するとメモリー機能は解除されます。

② 機能設定 (詳細:16ページ)

- ※長押し(約5秒)すると内部クリーンモードとなり、送風(風量強)で30分運転後自動で運転を停止します。

[冷風]

- 設定温度に応じて冷風運転と送風運転を自動で切り替えて運転をします。
- ※設定温度を16~32°Cで設定できます。
- ※弱・中・強の風量設定が可能です。
- ※設定温度と周辺温度の状態に応じて、モーターの回転数を制御します。

[ドライ]

- 環境温度に応じてコンプレッサーの入/切を繰り返して乾燥した風を送り出し、湿度を下げます。
- ※風量弱のみで運転をします。
- ※温度設定はできません。

[送風]

- 設定した風量を3段階(弱・中・強)で送風運転をします。
- ※温度設定はできません。

[温風]

- 設定した温度に応じて温風運転と送風停止を自動で切り替えて運転をします。
- ※設定温度を16~32°Cで設定できます。
- ※弱・中・強の風量設定が可能です。
- ※設定温度と周辺温度の状態に応じて、モーターの回転数を制御します。
- ※温風使用時は、前回冷房運転で使用していると、温風に切り替わる時までには最長 5 分程度の時間がかかります。

③ 風量設定 (詳細:15ページ)

- 使用環境やお好みに合わせて風量を3段階(弱/中/強)で調節可能です。
- ※冷風・温風・送風運転時のみ設定可能です。
- ※冷風運転中に長押し(約3秒)すると、パワフルモードに切り替わります。(詳細:16ページ)

④⑤ 温度/タイマー時間設定 (詳細:16・17ページ)

- ④温度を下げる・タイマー時間を戻す
- ⑤温度を上げる・タイマー時間を進める

⑥ タイマー設定 入/切 (詳細:17ページ)

- 1~24時間単位で入/切タイマーの設定ができます。(1時間単位)

⑦ おやすみ設定 (詳細:17ページ)

- 表示部のLEDが暗くなります。
- ※冷風運転・温風運転時のみ使用可能です。
- ※風量弱で運転します。
- ※12 時間後自動で運転を停止します。

⑧ スイグ / ロック設定 (詳細:18ページ)

- ルーバーのスイグのオン/オフを切り替えます。
スイグ中にもう一度押しと、ルーバーはその時の位置で止まります。
- スイグボタンを長押し(約3秒)するとボタン操作をロックします。
再度長押し(約3秒)でロックを解除します。
- ※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません。

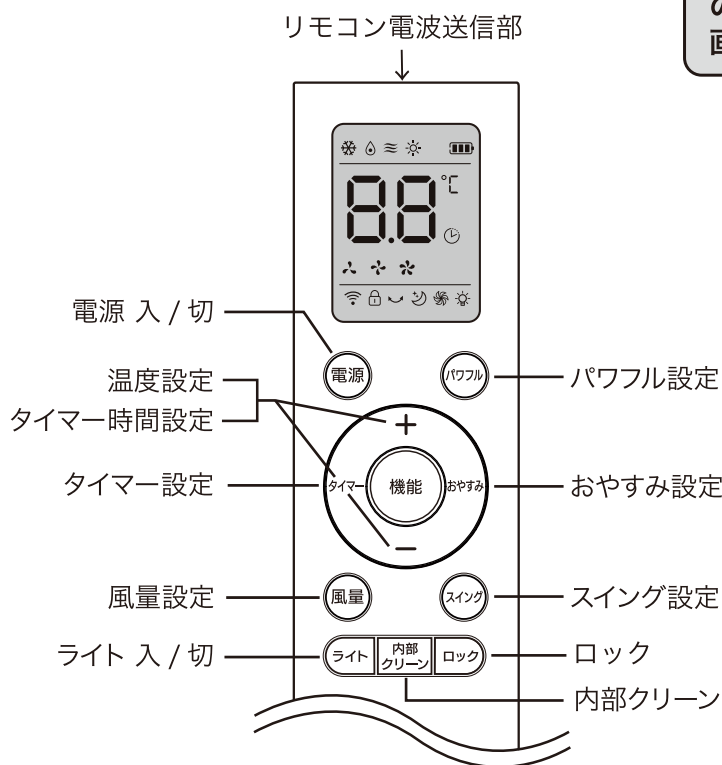
リモコンについて

リモコン

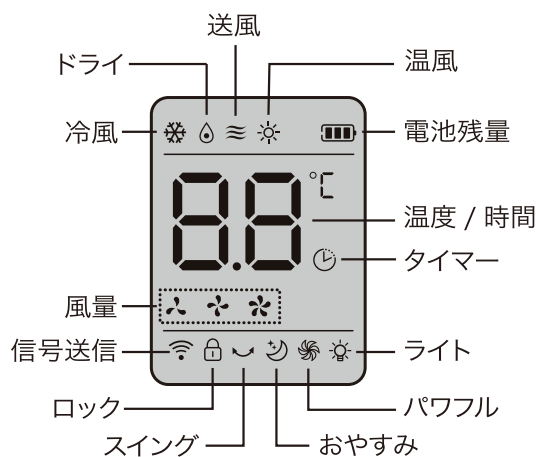
●リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作部の詳細説明に準じます。

詳細：15・16・17・18 ページ

リモコンは送信専用です。本体の操作パネルで行った操作はリモコンの液晶表示には反映されません。本体とリモコンの表示が異なる場合、現在の運転状態は本体の画面でご確認ください。

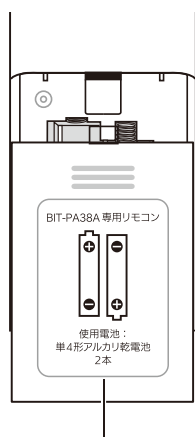


●各動作状態のアイコンが表示されます。



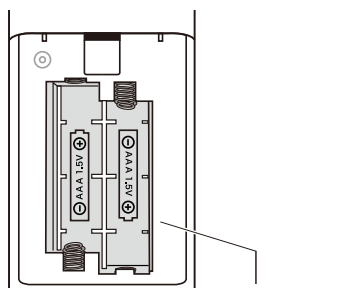
■リモコン用電池のセット

単4形アルカリ乾電池2本使用
※電池は付属していません。

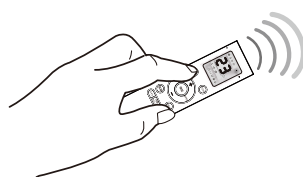


電池ボックスカバー

リモコン裏の電池ボックスカバーの≡を押しながからいどして開け市販の単4形アルカリ乾電池を2本正しい向きにセットしてください。

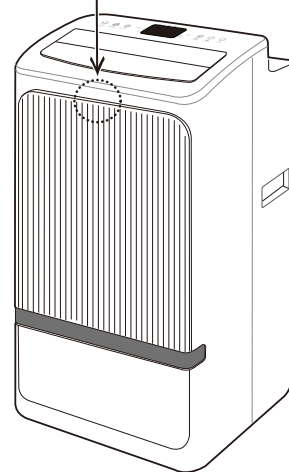


電池ボックス



受信距離はリモコン電波受信部正面から約5m

リモコン電波受信部



【リモコン操作上のご注意】

■本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

1. 他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。
2. 本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と重なってしまうことで発生する現象で、製品機能上の問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

- ・電池の(+)(-)を正しくセットしてください。
- ・古い電池と新しい電池や種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ・電池は、必ず2本一緒に交換してください。

長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。→電池が液漏れして故障の原因になります。

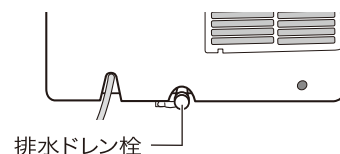
ご使用前に

お願い

製品到着後はすぐに電源を入れず、必ず半日から1日以上置いてから使用してください。

→運送中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、
コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して故障の原因になります。

本体背面の排水ドレン栓が確実に差し込まれていることを確認してください。→確実に差し込まれていないと、水漏れの原因になります。



排気ダクトを取り付ける



必ず守る

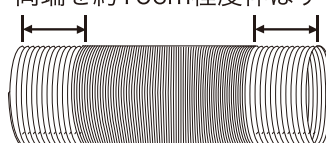
排気ダクトは、本体の排気口に取り付けて使用します。取り付けずに使用すると排気の一部が給気に戻り、能力が低下することがあります。効果的に使用するため、冷風・ドライ・温風運転を使用する際は必ず排熱処理をしてください。

付属の排気ダクト以外を使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長したりしないでください。

両端に排気ノズルとダクトエンドを取り付けやすくするために

①排気ダクトの両端を約10cm程度伸ばします。

両端を約10cm程度伸ばす



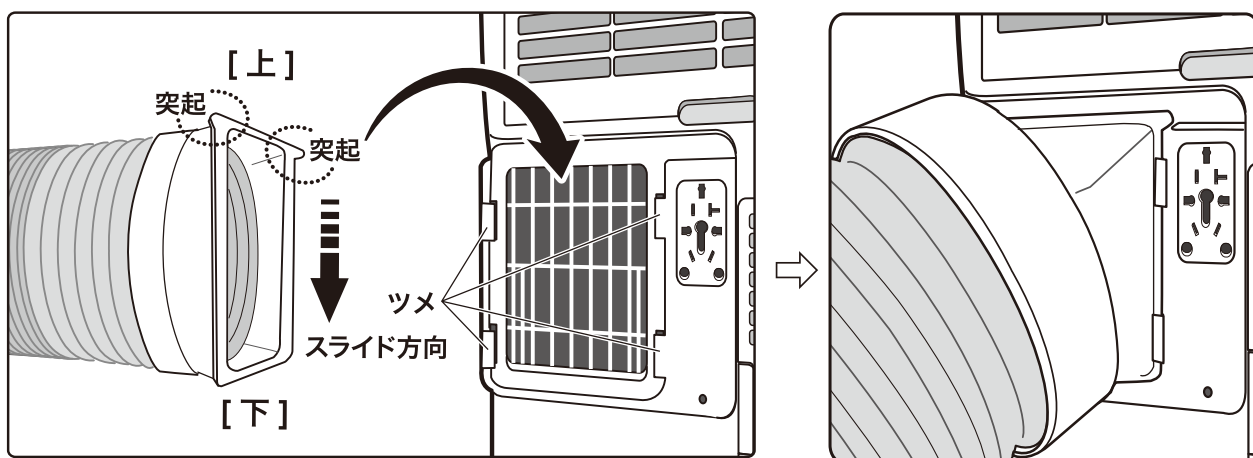
②排気ノズルとダクトエンドを、排気ダクトの伸ばした両端にセットし、両方がある程度固定されるまで右回りに回してセットします。

排気ノズル・ダクトエンドを左回りに回すと排気ダクトから外すことができます。



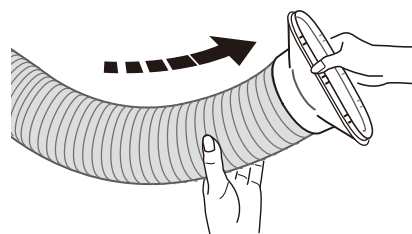
③排気ノズルの左右の突起を上にして本体の排気口の左右のツメに上から差し込み、止まるところまで下にスライドします。

※カチッと音がするまで確実にセットします。



④排気ダクトを適当な長さに伸ばします。

【注】排気ダクトを伸ばすときは、取り付けたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。



窓パネルの設置



注意

- 窓パネルの重量に耐える場所に設置してください。
- 窓パネル設置にあたり、雨よけパーツをご使用になれない環境の場合は、雨どいの真下は避け、吹き下ろしなどで雨水が浸入しない場所を選んでください。
- 台風など雨や風が強いときは、使用を中止して窓パネルを取り外してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。運転時の振動による騒音が発生し、近隣に迷惑になるおそれがあります。

■設置可能な窓枠高さについて

約70.2cm (窓パネル1枚のみ)、約91.2cm~231.2cm (窓パネル2枚以上組み合わせた場合)

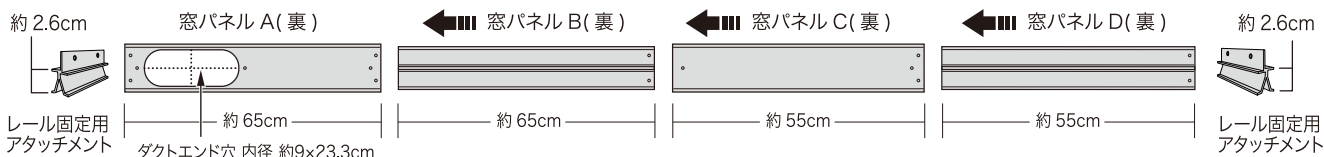
(長さ) A 約65cm / B 約65cm / C 約55cm / D 約55cm

■A+ アタッチメント：約70.2cm

■A+D+ アタッチメント：約91.2~120.2cm ■A+B+ アタッチメント：約101.2~130.2cm

■A+D+C+ アタッチメント：約125.2~170.2cm ■A+B+C+ アタッチメント：約125.2~180.2cm

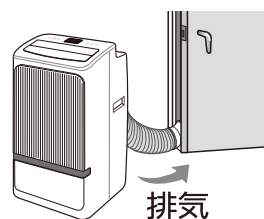
■A+B+C+D+ アタッチメント：約156.2~231.2cm



注意 窓パネルが設置できない場合

- 窓パネルの設置が難しいドアや窓の場合は、排気ダクトの先端部の「ダクトエンド」をドアを開けた所に挟み排気を外部に出します。

【注】 付属の排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、能力が低下します。

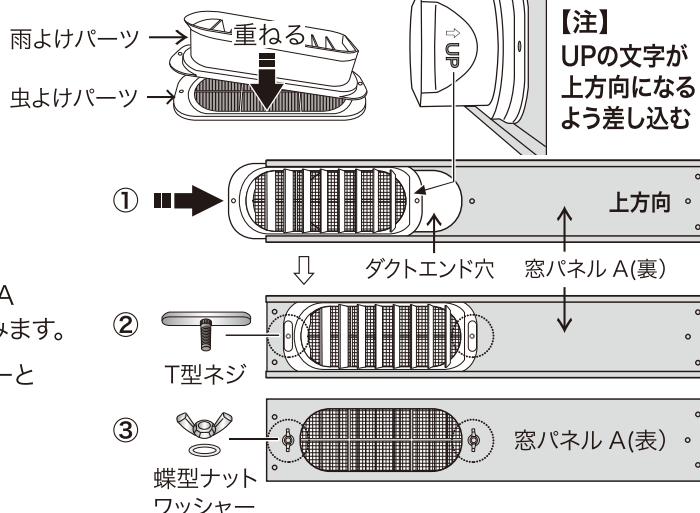


1.窓パネルAに雨よけパーツ・虫よけパーツを取り付ける

- ①虫よけパーツの上に雨よけパーツを重ねた状態で窓パネルAの裏側の溝に差し込み、ダクトエンド穴までスライドし合わせます。
※雨よけパーツ・虫よけパーツはそれぞれ単体でも使用可能です。

- ②雨よけパーツ・虫よけパーツのネジ穴と窓パネルAのネジ穴を一致させ、T型ネジを上下に差し込みます。

- ③窓パネルAの表側からT型ネジの先にワッシャーと蝶型ナットをセットして回し、窓パネルAに雨よけパーツ・虫よけパーツを確実に固定します。

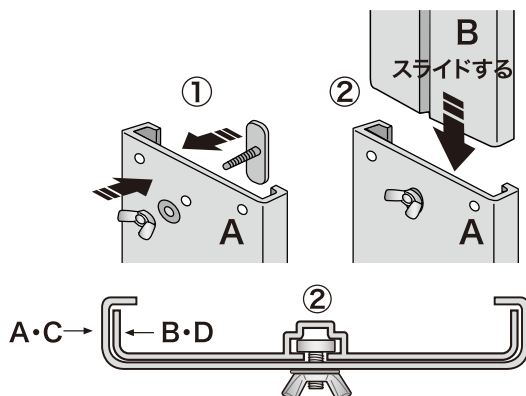


2.窓パネルを組み立てる

- ①窓パネルAのネジ穴の裏側からT型ネジを差し込み、ワッシャーと蝶型ナットをセットしたら蝶型ナットを2周ほど回して軽く止めておきます。
- ②窓パネルBの中央の凸溝にT型ネジを縦にして差し込み、窓パネルAにスライドして重ね、蝶型ナットで仮おさえておきます。

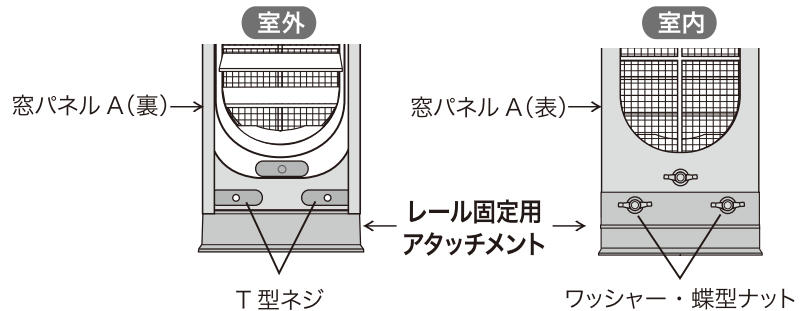
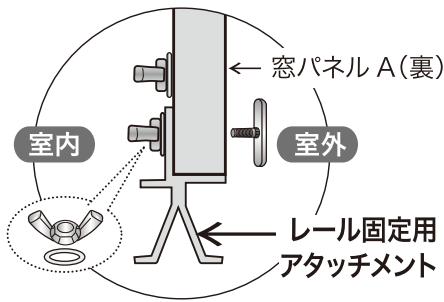
※設置する窓の高さに合わせて窓パネルC・Dを追加します。

※必ず各パネルが5cm以上重なるようにしてください。



3. 窓パネルにレール固定用アタッチメントを取り付ける

- ①レール固定用アタッチメントと窓パネル A の 2 か所のネジ穴を合わせ、窓パネル A の裏側から T 型ネジを差し込み、ワッシャーと蝶型ナットで固定します。
- ②窓パネル A に接続した窓パネルの先端に、レール固定用アタッチメントをセットし、T 型ネジ・ワッシャー・蝶型ナットでしっかり固定します。
※レール固定用アタッチメントの取り付け位置・取り付け方に注意してください。



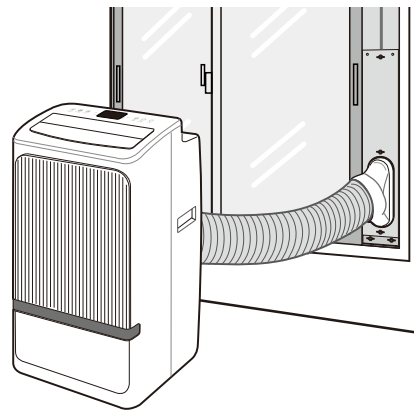
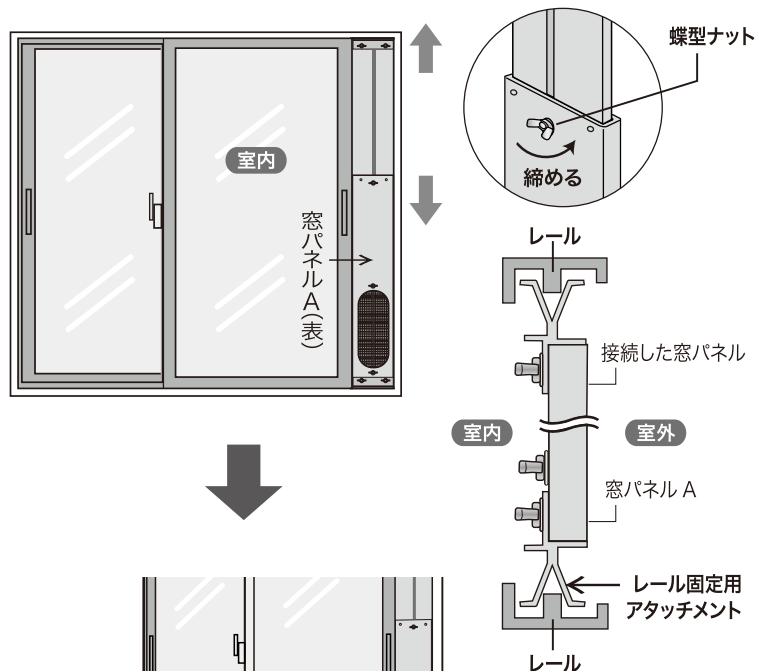
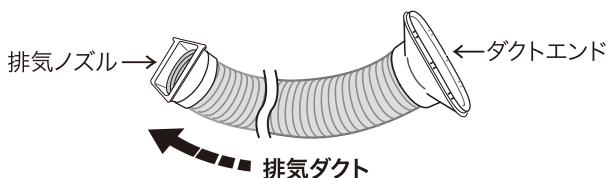
4. 窓パネルを設置する

- ①接続部の蝶型ナットを緩め、窓パネルの表側を室内側にしてレール固定用アタッチメントを窓のレールにはまるように置きます。
- ②接続した窓パネルを窓の高さまでスライドして、先端のレール固定用アタッチメントが窓の上部レールにはまるように、窓パネルの長さを伸縮調整し、蝶型ナットをしっかり締めて固定します。
※必ず上下同じレールに取り付けてください。

注意 アタッチメントがしっかりとレールにはまっていることを確認してください。取付が不十分な場合は、窓枠から脱落しけがをするおそれがあります。

- ・窓サッシと窓パネルの側面のすき間が気になる際は、すき間スポンジシールを貼って調整してください。(14 ページ参照)
- ・必要な場合は窓固定金具を使用してください。(14 ページ参照)

- ④窓パネル A のダクトエンド穴に、排気ダクトのダクトエンドをはめ込みます。
※ダクトエンドを穴に合わせ、上から軽く押すとカチッとハマります。

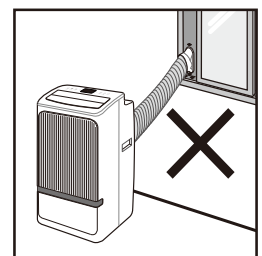


- ⑤本体を近くに設置し、排気ダクトの長さを調整したら、排気ノズルを本体背面にスライドしてはめ込みます。(10 ページ参照)

注意 排気ダクトを伸ばすときは、取り付けしたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。

■窓パネルからダクトエンドを取り外すときは「お手入れのしかた」(19 ページ) を参照してください。

■排気ダクトを設置する際に角度をつけすぎないでください。
※排気ダクトの角度が急な場合は排気が逆流し、能力が著しく低下、または冷風・温風が出なくなるおそれがあります。



ドレン水を排水する

この製品はノンドレン構造ですが、湿度の高い場所で使用するとドレン水がたまり、満水のエラー表示がでます。その際は、下記の方法でドレン水の排水をしてください。
※ノンドレン構造とは、運転時に発生したドレン水を蒸発させて、排気と一緒に排出するものです。

ドレンホースを取り付けて排水する

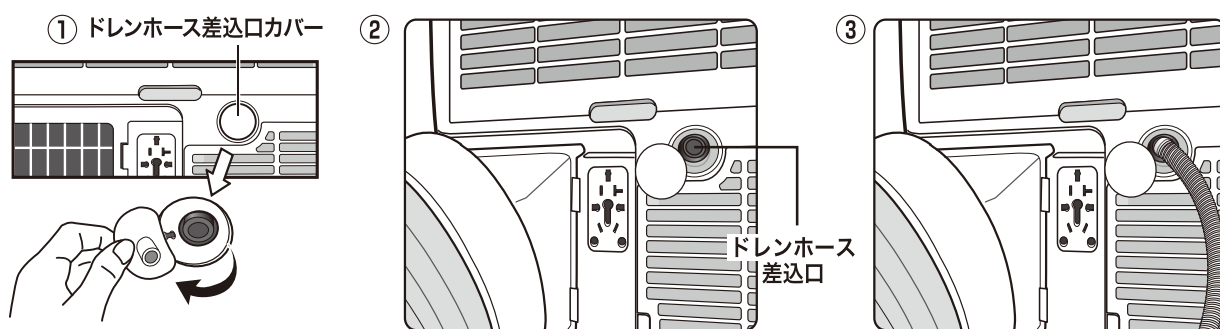
※ドレン水をためる容器をご用意ください。

●冷風・ドライ運転時に連続排水するときにドレンホース差込口に差し込んで使用します。

- ①本体背面のドレンホース差込口カバーを左方に引いて開け、半回転して表側を出し、ドレンホース差込口カバーを②図の状態にします。

【注】ドレンホース差込口カバーは、冷風・ドライ運転時の連続排水時以外は外さない →水漏れの原因になります。

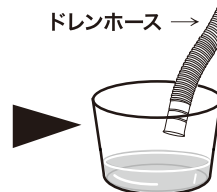
- ②ドレンホース差込口に付属のドレンホースをしっかりと差し込み、
③ドレンホースの先をドレン水をためる容器に差し込みます。



ドレン水をためる容器の水量をこまめに確認する
→容器からあふれて床を濡らす原因になります。

ドレンホースは必ずドレンホース差込口より低い位置に向けて排水してください。
→排水できずに水漏れの原因になります。

ドレンホースの折れ曲がりや落差に注意し、ドレンホースの先がドレン水を受けている容器に浸からないようにする



●温風運転時は、ドレンホース差込口から水は出ません。

本体下部排水口から排水する

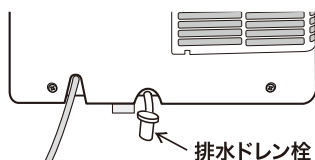
- 温風運転時は、環境によってドレン水が下部タンクに溜まることがあるため、ドレンホースを本体下部の排水ドレン栓に付けて使用することをおすすめします。浅いトレイなどで排水を受けてください。
※排水ドレン栓より低いトレイのようなもので排水を受けてください。(トレイは付属していません。別途ご用意ください。)

- ドレンホースを取り付けずに運転し、ドレン水満水のお知らせがあったときは、排水ドレン部に浅いトレイなどを差し込み、排水ドレン栓を外して本体を傾けて排水します。(満水量：約 600ml)

※トレイが溢れないように数回に分けて排水してください。

温度 / 時間表示画面に **F_L** が表示され、警告音が鳴り運転を停止します。

【注】 排水ドレン栓を開けたときに、中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



アース線について



警告

アース線の接続



アース線接続

ご使用前に、正しくアース線の接続をおこなってください。

→接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

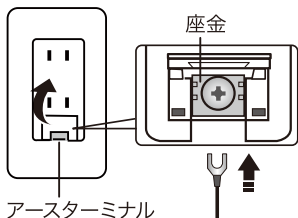
【注】アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しない

■漏電遮断機、アース端子が付いていないコンセントの場合

●アース端子を増設する工事は「D種接地工事」と呼ばれ、有資格者でなければ施工できない工事にあたります。

【注】アース端子の増設は専門業者の電気工事の資格を持つ方へ依頼してください。

1. アース線を接続する



①コンセントの「アースターミナル」の蓋を開けます。→中にネジ、その下に座金があります。

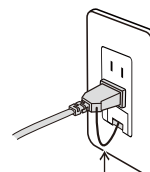
②プラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩めます。ネジを緩めるとその下にある座金と一緒に浮いてきます。

③座金の下にアース線の先端を潜り込ませます。

④ネジを時計回りに回して締めて座金を固定していきます。

※ネジと座金を固定し終えたらアース線を手で引っ張ってみて線が抜けかないか確認してください。

⑤蓋を元通りに閉じます。



2. コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込む

※アース線の接続が完了してから最後に電源プラグを差し込みます。

■アース線の効果

①漏電時の感電を防ぎます。

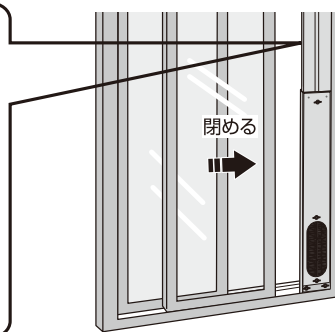
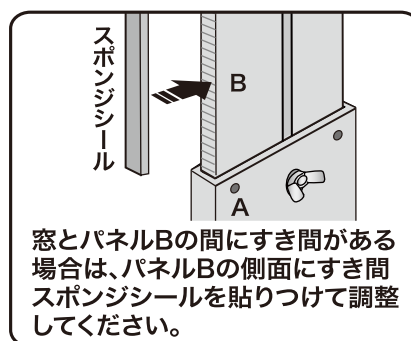
②余分な電気エネルギーを地面に逃し、電気の流れを安定させることで家電の動作に影響を与えるノイズを軽減します。

③電磁波を軽減します。

すき間スポンジシールの取り付け方

①すき間スポンジシールを窓枠のサイズにあわせてカットし、窓パネルを固定したい箇所に貼りつけます。

②外気や虫の侵入が気になる場合は、すき間スポンジシールを窓枠の形やサイズに合わせてカットし、内側の窓と外側の窓のすき間をふさいでください。



窓固定金具の取り付け方

■必要な場合は窓に窓固定金具を取り付けてください。

①窓固定金具のつまみを反時計回りに回して固定ゴムを緩めます。

②外側の窓と手前のレールの間に窓固定金具の固定ゴムを差し込み、それぞれの窓にすき間のないように窓固定金具をピッタリあてます。

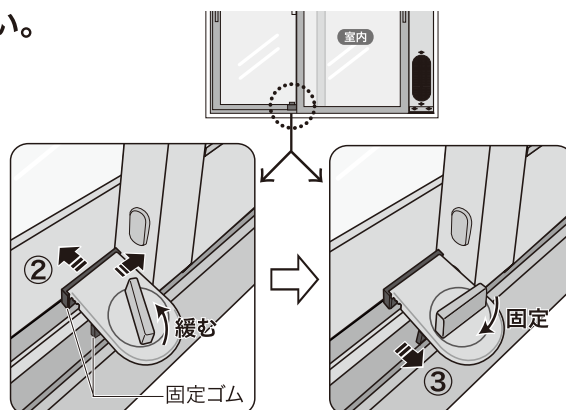
③窓固定金具がしっかり固定するまで、つまみを時計回りに回して確実に取り付けてください。



つまみを強く締めすぎると窓やサッシを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

※窓の形状によっては取り付けできない場合があります。

※事故や盗難に対する補償はいたしかねます。



運転をする

必ず守る

交流100V 15A以上のコンセントを単独で使用してください。

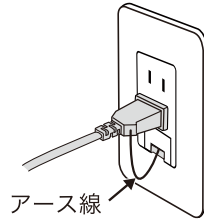
延長コードは使わないでください。

むやみにボタン操作を繰り返す行為はしないでください。→故障の原因になります。

警告 ぬれた手で操作しない →感電やけがのおそれがあります。

■ コンセントにアース線の接続をし、電源プラグを確実に差し込む
(アース線の接続については14ページ参照)

※通電し、待機状態になります。
※リモコンを使用する際は、リモコンの電波送信部を本体の電波受信部に向けて操作してください。(9ページ参照)



本体は静電式タッチボタンのため、タッチ操作になります。リモコンは押下式ボタンのため、押す操作になります。

● 操作するごとに「ピッ」と鳴り、液晶ランプ(下図)が点灯します。※下図は本体画面です。



【温度 / 時間表示画面】



温度表示
(例) 送風運転・風量弱・周辺温度 23°Cの場合



時間表示
(例) 冷風運転・風量弱・タイマー時間 3時間の場合

本製品のリモコンは送信専用です。
本体操作時とリモコン操作時で、各表示内容に差異が生じる場合があります。
(例) 温度「16°C」から「20°C」に変更

①リモコン操作時：リモコン+ボタンを4回押す

②本体操作時：本体∧ボタンを5回押す

リモコン操作後の表示内容

【本体表示】

【リモコン表示】

本体操作後の表示内容

【本体表示】

【リモコン表示】

■ 電源入/切

本体 電源入/切ボタンをタッチすると運転を開始します。

リモコン 電源入/切ボタンを押すと運転を開始します。

■ 風量設定 (運転している状態で操作します) ※ドライ運転・おやすみ設定の場合は使用できません。

本体 風量ボタンをタッチすると弱・中・強の順に切り替わります。
※冷風運転中に長押し(約3秒)すると、パワフルモードに切り替わります。(16ページ参照)

リモコン 風量ボタンを押すと弱・中・強の順に切り替わります。
冷風運転中にパワフルモードボタンを押すと、パワフルモードに切り替わります。

※本製品はインバーター制御により、運転状況に応じて風量を自動的に最適化します。
そのため、弱・中・強の風量差が小さく感じられる場合がありますが、これはインバーター制御による最適化の結果であり、故障ではありません。

■ 機能設定 (運転している状態で操作します) 機能の詳細: 8ページ

以下の環境でのみコンプレッサーが作動します。(詳細: 6ページ参照)

●冷風・ドライ運転: 室温が約 16°C~40°C ●温風運転: 室温が約 5°C~32°C

本体



機能
内部クリーン(長押し)

機能ボタンをタッチして、設定したい機能 [冷風]・[ドライ]・[送風]・[温風]を切り替えます。



※電源を切る前の状態で運転を開始します。コンセントから電源プラグを抜き、しばらく放置するとメモリの機能は解除されます。

機能ボタンを長押し(約5秒)すると内部クリーンモードとなり、送風(風量強)で30分運転後自動で運転を停止します。

※エアコン内部を乾燥させ、カビや雑菌の繁殖を抑えることを目的とした機能です。

※■内部クリーン (18ページ参照)をあわせてご確認ください。

リモコン



機能ボタンを押して、設定したい機能 [冷風]・[ドライ]・[送風]・[温風]を切り替えます。

※ドライ・送風運転では、リモコンの画面に「ー」と表示されます。

■ パワフル設定 (冷風運転している状態で操作します) ※おやすみ設定の場合は使えません。

本体



風量
パワフル(長押し)

冷風運転中に風量ボタンを長押し(約3秒)するとパワフルモードとなり、設定温度 16°C、強風量で運転します。

再度、風量ボタンを長押し(約3秒)するか、機能ボタンをタッチするとパワフルモードが解除され元の設定で運転します。

リモコン



冷風運転中にパワフルボタンを押すとパワフルモードとなり、設定温度 16°C、強風量で運転します。

再度リモコンのパワフルボタンを押すと、パワフルモードが解除され元の設定で運転します。

※リモコンでパワフルモードを設定した場合、本体からは解除できません。

※パワフル設定時は温度・風量の設定は変更できません。

温度・風量を変更する場合は、パワフル設定を解除してください。

※パワフルモード中はロック設定できません。

■ 温度設定 (運転している状態で操作します) ※ドライ運転・送風運転の場合は使えません。

※実際に出ている風の温度を設定する機能ではありません。周辺の目標温度を設定する機能になります。

本体



冷風・温風運転中にお好みに合わせて [∨]・[∧]ボタンをタッチして温度を設定します。ボタンをタッチすることにより、1°C単位で設定が下がる、あるいは上がります。(16~32°C)

リモコン



冷風・温風運転中にお好みに合わせて [+]・[-]ボタンを押して温度を設定します。ボタンを押すごとに、1°C単位で設定が下がる、あるいは上がります。

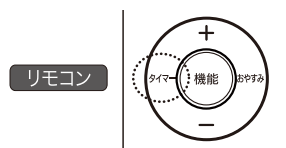
●温度設定時に数字が表示され、点滅後に設定が完了します。(点滅中も設定変更可能)

●設定完了後、設定温度が表示されます。



(例) 冷風運転・風量弱・設定温度 20°Cの場合

■ タイマー設定



タイマー設定ボタンをタッチして、[✓] [^] ボタンで1～24時間の入/切タイマーの設定ができます。（1時間単位）

※タイマー設定時に数字が点滅表示されます。
その後数字が表示され設定完了。（点滅中は設定変更可能）

タイマー設定ボタンを押して、[+] [-] ボタンで1～24時間の入/切タイマーの設定ができます。（1時間単位）

※タイマー設定時に数字が点滅表示されます。
その後数字が表示され設定完了。（点滅中は設定変更可能）



(例) 冷風運転・風量弱・切タイマー5時間で設定した場合



(例) 冷風運転・風量弱・入タイマー10時間で設定した場合

【切タイマーを設定する】 → (運転している状態で操作します)

●**運転状態でタイマーボタンを操作し、[✓] [^] ボタンで切タイマー時間を設定する** → タイマーランプ が点灯します。

※設定完了後、送風運転・ドライ運転は周辺温度、冷風運転・温風運転は設定温度が画面に表示されます。

※本体の操作パネルでタイマー時間を0にするか、電源を切るとタイマーは解除されます。

【入タイマーを設定する】 → (待機している状態で操作します)

●**待機状態でタイマーボタンを操作し、[✓] [^] ボタンで入タイマー時間を設定する**

→ 設定したタイマー時間が画面に表示され、タイマーランプ と設定した風量ランプ ・機能ランプ が点灯します。

※冷風運転・温風運転の温度設定は、電源を切るときに設定されていた温度が引き継がれます。
※本体の操作パネルでタイマー時間を0にするか、電源を入れるとタイマーは解除されます。

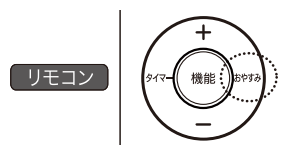
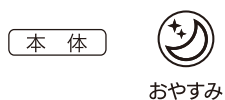
●**入タイマー設定後に風量設定・機能設定を変更する**

→ 本体操作部の風量ボタン・機能ボタンを操作してお好みの設定をする。
※リモコンでは設定できません。

※リモコンで操作する場合はタイマーボタンを操作し、[+] [-] ボタンで切・入タイマー時間を設定する

※リモコンで操作する場合は、タイマー設定中（数字が点滅中）に再度タイマー設定ボタンを押すと、タイマーが解除されます。

■ おやすみ設定 (運転している状態で操作します) ※冷風運転・温風運転でのみ使用できます。



おやすみボタンをタッチすると表示部のLEDが暗くなり、弱風量で運転し、約12時間後に自動で運転が停止します。

→ 12時間以内で切タイマー設定をすることが可能です。

再度おやすみボタンをタッチするとおやすみモードは解除され元の設定で運転をします。

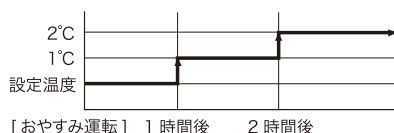
※切タイマーを13時間以上に設定しても、約12時間後に自動で運転が停止します。

※おやすみ設定時は風量の設定変更はできません。

※おやすみ設定をすると、おやすみ設定から12時間後まで右記の温度で運転をします。

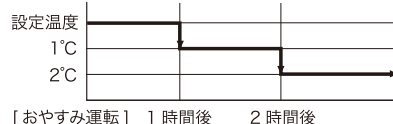
冷風運転の場合

設定後1時間経つと設定温度から1°Cアップ、さらに1時間後設定温度からもう1°Cアップします。その後は設定温度から2°Cアップした温度で運転します。設定温度が32°Cより高くなることはありません。



温風運転の場合

設定後1時間経つと設定温度から1°Cダウン、さらに1時間後設定温度からもう1°Cダウンします。その後は設定温度から2°Cダウンした温度で運転します。設定温度が16°Cより低くなることはありません。



■ スイング設定

本 体



スイング
ロック (長押し)

スイングボタンをタッチすると、ルーバーのスイング機能のオン / オフを切り替えます。
スイング中にもう一度押すと、ルーバーはその時の位置で止まります。

スイングボタンを長押し(約3秒)するとロック設定となり、ボタン操作をロックします。再度長押し(約3秒)でロックを解除します。※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません。

リモコン



スイングボタンを押すとルーバーのスイング機能のオン / オフを切り替えます。
スイング中にもう一度押すと、ルーバーはその時の位置で止まります。

■ ロック設定

本 体



スイング
ロック (長押し)

本体で操作する場合はスイングボタン長押し(約3秒)、
リモコンで操作する場合はロックボタンを長押し(約3秒)すると
ボタン操作をロックします。

ロックを解除するには、本体のスイングボタンを長押し(約3秒)してください。

※リモコンでロックの解除はできません。

※リモコンのロック表示は、リモコンのロックボタンを長押し(約3秒)することで解除します。

※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません。

リモコン



■ 内部クリーン

本 体



機能
内部クリーン (長押し)

本体で操作する場合は機能ボタン長押し(約5秒)、
リモコンで操作する場合は内部クリーンボタンを押すと、
送風(風量強)で30分運転後自動で運転を停止します。

エアコン内部を乾燥させ、カビや雑菌の繁殖を抑えることを目的とした機能です。

※カビの発生を防ぐことを保証するものではありません。

※本機能は内部を一時的に乾燥させるためのものであり、完全に水分を取り除いたり、洗浄や清掃を行うものではありません。

※「お手入れのしかた」(19・20ページ参照)をあわせてご確認ください。

※内部クリーン運転中は操作できません。途中で止める場合は電源を切ってください。

※内部クリーン運転中の画面は、送風(風量強)で表示されます。

リモコン



■ 本体表示部 点灯/消灯 (リモコンからのみ操作可能)

リモコン



ライトボタンを押すと、本体表示部が消灯します。
もう一度ライトボタンを押すと、本体表示部が点灯します。

※本体表示部が消灯中に、本体のいずれかのボタンをタッチすると表示部が点灯します。

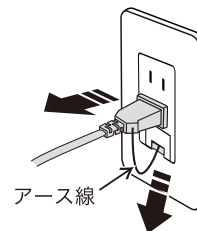


必ず守る

使用後は、電源入/切ボタンを操作して電源を切りファンが停止してから、アース線に注意してコンセントから電源プラグを抜く ※電源ランプが消灯します。

お手入れのしかた

- 必ず電源を切り、ファンが停止してから、電源プラグ・アース線をコンセントから抜いてください。
- お手入れは2週間に1回以上おこなってください。
- エアフィルターにホコリが溜まると、能力が弱くなります。
- 長期保管の際は故障防止のため、24ページ「保管のしかた」をよくお読みください。



注意

- 本体やリモコンは、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない
内部に水が入り、故障の原因になります。
- みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・
金属たわし・硬いたわしなどは使わない →変色や変形の原因になります。
- 40℃以上のお湯は使わない →変形の原因になります。

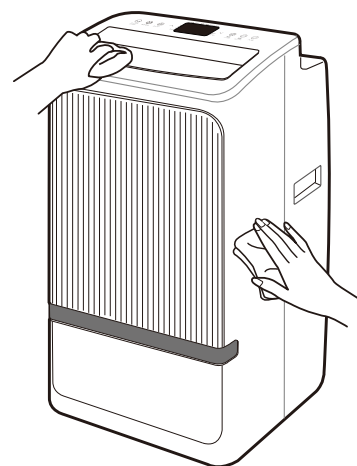
本 体

水洗いはできません

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

汚れがひどいときは、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、
汚れを拭き取ってください。
その後、洗剤や水分が残らないようにきれいに拭いてください。

※長期間使用しない場合は、必ず本体を軽く傾けて排水口および
ドレンホース差込口からドレン水を抜いたあと、送風運転で半日程度
運転して内部を乾かします。
上記をおこなわないと内部にカビやサビが発生し、故障の原因になります



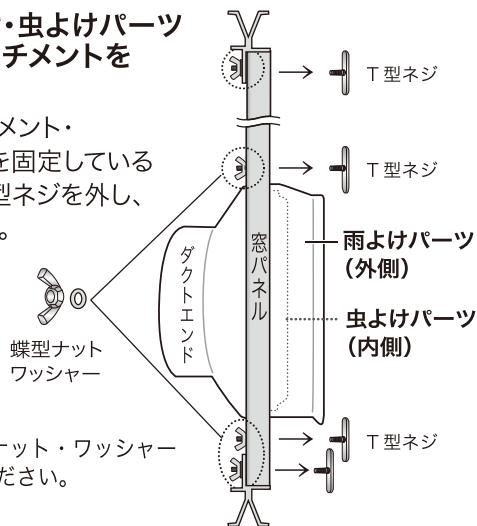
排気ダクト・排気ノズル・ダクトエンド・雨よけパーツ 虫よけパーツ・窓パネルA/B/C/D・ドレンホース・ レール固定用アタッチメント

水洗いできます

- 長期間収納するときにそれぞれを分解して、洗ってください。
洗った後は、本体同様に水気が残らないように十分乾燥させてください。

①窓パネルから雨よけ・虫よけパーツ レール固定用アタッチメントを 外します。

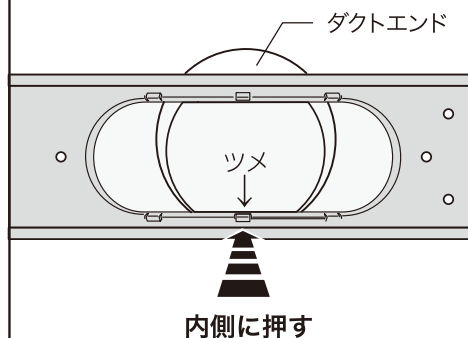
- レール固定用アタッチメント・
雨よけ・虫よけパーツを固定している
蝶型ナットを回してT型ネジを外し、
窓パネルから外します。



【注】 外したT型ネジや蝶型ナット・ワッシャー
などをなくさないでください。

②窓パネルからダクトエンドを外します。

- 窓パネルを裏返し、ダクトエンド穴に固定
しているダクトエンドのツメを中央に向けて
押すと、ダクトエンドが外れます。



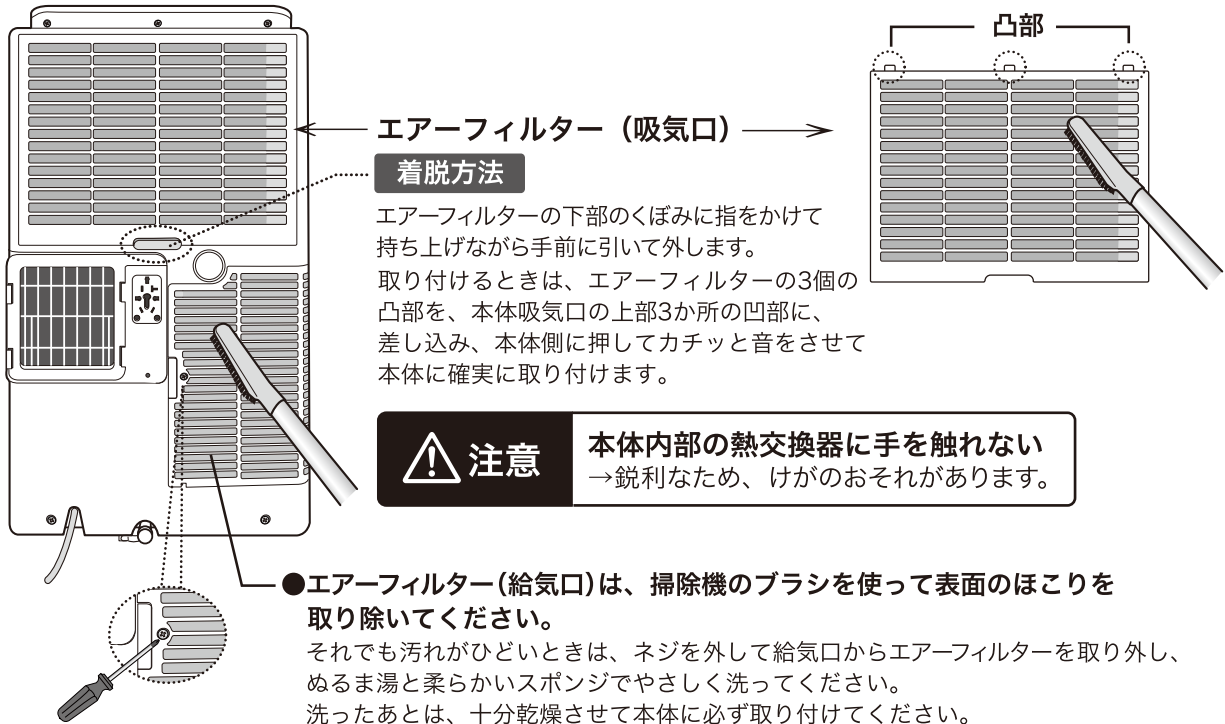
エアフィルター（吸気口）

外して水洗いできます（着脱方法：下図参照）

お手入れは2週間に1回以上おこなってください。

●エアフィルターを外して掃除機のブラシなどでホコリを取り除きます。

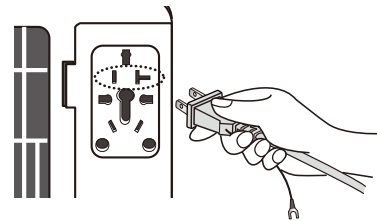
汚れがひどいときは、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取るか、取り外してぬるま湯と柔らかいスポンジでやさしく洗ってください。
洗ったあとは、十分乾燥させてください。



絶対にエアフィルターを外したまま使用しない
内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。

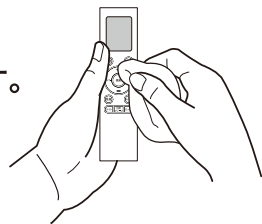
■電源プラグの収納

- 本体裏の「差込収納口」に、電源プラグと形が一致する場所に差し込みます。



リモコン 水洗いはできません

- 表面の汚れやホコリを乾いた布で拭き取ります。



電源プラグ 水洗いはできません

- ゴミやホコリは定期的に乾いた布で拭き取ります。



※長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

症 状	対処方法
電源が入らない 運転が始まらない	<p>●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。</p> <p>●正しく操作していますか？ → 電源入 / 切ボタンを押して電源を ON にしてください。(15 ページ参照)</p> <p>●ドレン水がたまっていませんか？ → 容器を用意して排水してください。(13 ページ参照)</p>
リモコンで操作 できない	<p>●電池が消耗していたり、使用推奨期限が近くなったりしていませんか？ → 電池を交換してください。</p>
冷え方が弱い (冷風・ドライ運転時) 暖まりが弱い (温風運転時)	<p>●エアフィルターがホコリで汚れていませんか？ → エアフィルターのほこりを掃除機のブラシなどを使って掃除してください。 2週間に1回は掃除をしてください。汚れがひどいときは、洗ってください。(20ページ参照)</p> <p>●部屋の中に熱源になっているものはありませんか？ (冷風・ドライ運転) → 冷風・ドライ運転をするときは、室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。</p> <p>●付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長していませんか？ → 排気ダクトは必ず付属品を単独で使用してください。付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長すると排気熱が排気ダクト内に留まり、正常な排熱処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(6・10ページ参照)</p> <p>●排気ダクトを急な角度で設置していませんか？ → 排気熱が排気ダクト内にたまり、正常な排気処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(6・12ページ参照)</p>
冷風が出ない (冷風運転時) 温風が出ない (温風運転時)	<p>●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ (6 ページ参照)</p> <p>●熱気のこもった部屋で使用していませんか？ → 換気や扇風機の併用などで周辺温度が下がる状態でお試してください。</p> <p>●設定温度が高い状態で冷風運転していませんか？ → 設定温度を下げてください。</p> <p>●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ (6 ページ参照) → 前回冷房運転で使用している場合、温風が出るまでには最長 5 分程度時間がかかります。動作しない場合は設定温度を上げてください。</p>
送風が停止する (冷風・ドライ・温風運転時)	<p>●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ (6 ページ参照)</p>
風量が変わらない	<p>●設定温度と周辺温度の状態に応じて、モーターの回転数を自動調整しながら運転します。(15 ページ参照)</p>

故障かな？と思ったら

症 状	対処方法
ブレーカーが落ちる	<p>●本体を横に寝かせませんでしたか？ → 24時間以上縦置き(正常位置)の状態置いてから再度運転をおこなってください。 ※運送会社によっては、配送時に横積みをしている場合があります。</p> <p>●建物内の同コンセントの回路内で、消費電力の大きい製品を使用していないですか？ →異なる場所のコンセントでも、同コンセント回路内で消費電力の大きい製品を使用しているとブレーカーが落ちます。</p>
「シャンシャン」などの音がる	<p>●作動音であり異常ではありません。(4ページ参照)</p>
水漏れがする	<p>●本体を平らで安定した場所で使用していますか？</p> <p>●使用中や水が溜まっている状態で本体を移動させたりしていませんか？ →移動させることで本体内部の水受け皿に溜まっている水が溢れ、時間差で外部に漏れ出ることがあります。</p> <p>●ドレンホースの差込や排水ドレン栓のゆるみはありませんか？</p>
本体とリモコンの画面表示が違う	<p>●本製品のリモコンは送信専用です。本体での操作は、リモコンと連動しません。これは通信方式による仕様であり、故障ではありません。 →本体とリモコンの表示が異なる場合は、一度リモコンで操作すると、本体とリモコンの表示内容が一致します。(15ページ参照)</p>
ロックが解除できない	<p>●リモコンからはロックを解除できません。 →本体の操作パネルでスイングボタンを長押し(約3秒)してロックを解除してください。</p>

故障ではありません

※4・5ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。あわせてご参照ください。

●コンプレッサーが入切を繰り返す

→冷風は室温が約16℃～40℃、温風は5℃～32℃範囲の環境でお使いください。(6ページ参照)

●停止直後に再運転ができない

→運転を停止後、数分間は再運転を止めて内部の機器を守り、ヒューズ切れを防ぎます。

●運転音が大きい

→本体を平らな所に設置しているか、排気ダクト・ダクトエンド・雨よけパーツ・虫よけパーツ・エアフィルターが正しく取り付けられているかを確認してください。

●電源プラグが異常に熱い

→コンセントへの差し込みが確実におこなわれていない場合や、ガタついている場合は、異常に加熱します。別のコンセントに正しく差し込み直すか、工事業者に依頼してコンセントの交換をおこなってください。交換しても異常に加熱する場合は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
※使用中に、電源プラグが多少熱を帯びることは異常ではありません。

●本体の温度/タイマー時間設定ボタン(∨/∧)を約3秒長押しすると数字が表示される

→∧ 約3秒長押しで周辺温度が表示部に約5秒間表示されます。
→∨ 約3秒長押しで冷媒管温度が表示部に約5秒間表示されます。

運転中に、停電になったり、電源ボタンを操作せずに電源プラグを抜いて運転停止した場合は、停電復旧後やコンセントに電源プラグを差し込んだ時点で、電源ボタンを操作しなくても運転を再開します。

※故障の原因になりますので運転停止する場合は、必ず電源ボタンを操作して電源を切り、ファンが停止してから電源プラグを抜いてください。

エラー表記について

E0	基板の通信不良・警告音が鳴ります。 →お買い上げの販売店もしくは、お客様ご相談窓口までご連絡ください。
E1	周辺温度センサーの故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、お客様ご相談窓口までご連絡ください。
E2	蒸発器、凝縮器のセンサー故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、お客様ご相談窓口までご連絡ください。
Ft	満水のお知らせ・警告音が鳴ります。約3秒間の送風後に運転が停止します。 →電源を切り、本体背面の下部にある排水ドレン栓を抜いて、ドレン水を捨ててください。(13ページ参照) <hr/> ●頻繁に満水表示がでる場合は、ドレンホースを取り付けて連続排水してください。 →冷風・ドライ運転時と温風運転時で、ドレンホースの取付場所が異なります。(13ページ参照) →連続排水中にドレンホースが折れたり曲がっていないか、確認してください。

※どのエラー表記もいずれかのボタンを操作すると音は止まります。

製品仕様

品名	ポータブルルームエアコン
本体サイズ	約410(W)×720(H)×355(D)mm
本体質量	約 25kg
本体色	ホワイト
電源コード	約 1.8m
電源	AC100V 50/60Hz
冷風消費電力	1.15kW
冷風能力	3.8kW
冷風運転電流	11.5A
温風消費電力	1.0kW
温風能力	3.0kW
温風運転電流	10.5A
除湿能力 (1日あたり)	65L
電流ヒューズ	20A
冷媒の種類	HFC-R32
冷媒封入量	280g
付属品	リモコン(単4形アルカリ乾電池 ×2本使用 ※電池は付属していません) 排気ダクト・ダクトエンド・排気ノズル・レール固定用 アタッチメント ×2・窓パネルセット (窓パネル A/B/C/D 各1枚)・ 窓固定金具・すき間スポンジシール ×4・ドレンホース・ 窓パネル固定用ネジセット ×9・雨よけパーツ・虫よけパーツ
原産国	中国

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

※冷風能力および電気特性は、室温 30℃、相対湿度 70%の条件で運転したときの値です。

※温風能力および電気特性は、室温 20℃、相対湿度 60%の条件で運転したときの値です。

保管のしかた

必ずやる

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないよう
必ず本体を軽く傾けて、本体下部の排水口およびドレンホース差込口から内部の水を抜き、十分乾燥させてください。

[乾燥のしかた]

- 晴れている日に半日程度「送風」運転をして機器の内部を乾燥させてください。

- 排気ダクトを取り外し、本体を袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、
必ず製品を立てた状態にして
直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- リモコンの電池は取り出しておいてください。

廃棄のしかた

- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者様ご自身の負担により専門の回収業者に委託し、適正に処理してください。
- ※この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要になります。
- ※フロン類の種類および容量は、本製品の銘板に記載しています。
- ※フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ※本製品の冷媒 R32 は微燃性です。燃えにくい性質ですが不燃ではありません。火気に近づけないでください。
- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。



警告：低燃焼速度物質

冷媒に関する注意



この製品には、GWP(地球温暖化係数)が677のフロン類(R32)が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

※経年劣化により危害が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務づけられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】 本体に西暦表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 5年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用ができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準的な使用条件 JIS C 9921-3 によります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	冷風室内温度	27°C(乾球温度)
	冷風室内湿度	47%(湿球温度 19°C)
	温風室内温度	20°C(乾球温度)
	温風室内湿度	59%(湿球温度 15°C)
	温風室外温度	7°C(乾球温度)
	温風室外湿度	87%(湿球温度 6°C)
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋

想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷風：6月2日から9月21日までの112日間 温風：10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷風：9時間/日 温風：7時間/日
	1年間の使用時間	冷風：1008時間/年 温風：1183時間/年

● 製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

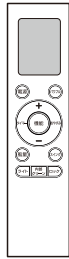
<p>こんな症状はありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱い ●電源コードに深い傷や変形がある ●焦げくさいにおいがする ●運転中に異常な音や振動がする ●本体に触れるとビリビリ電気を感ずる ●その他異常や故障がある 		<p>左記のような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。</p>
----------------------	---	--	--

部品・消耗品

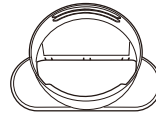
【オープン価格】 ※別途送料がかかります。

●劣化・消耗したり紛失してしまったときは、お買い上げの販売店もしくは、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※お客様ご相談窓口は保証書ページをご確認ください。

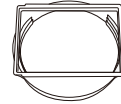
①リモコン



⑥ダクトエンド・排気ノズルセット

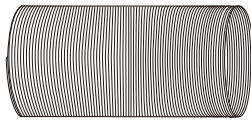


ダクトエンド



排気ノズル

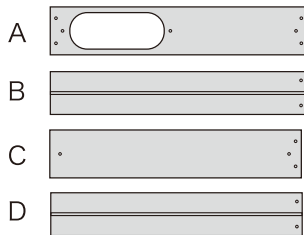
②排気ダクト



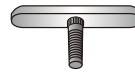
⑦ドレンホース



③窓パネルセット(A・B・C・D)



⑧窓パネル固定用ネジセット



T型ネジ

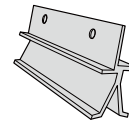


ワッシャー

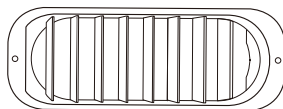


蝶型ナット

⑨レール固定用アタッチメント



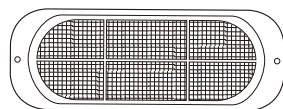
④雨よけパーツ



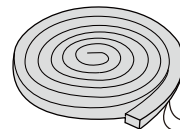
⑩窓固定金具



⑤虫よけパーツ



⑪すき間スポンジシール



保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定に基づく)で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえお買い上げの販売店または弊社お客様ご相談窓口にて修理をご依頼ください。

品名	ポータブルルームエアコン	品番	BIT-PA38A
※お買い上げ日	年 月 日	保 険 期 間	本体お買い上げ日より1年
お客様	お名前	様	
	ご住所 〒		
	お電話		
販売店	住所・店名	様	
	電話 ()		

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しください。(販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。)

保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、弊社お客様ご相談窓口までお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）やポータブルバッテリーなどで使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 正規販売店以外（オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など）での購入の場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。
(流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。)

【輸入元】株式会社 丸隆

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

お客様ご相談窓口 お問い合わせ先 TEL 0120-104-300
受付時間 月～金曜日(土日・祝日を除く) 10:00～17:00
ホームページ <https://www.marutakaltd.com/>

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。